

# やすちゅう



自 学 ・ 自 治 ・ 自 愛

No. 1 1

令和 3年 7月16日 (金)  
有田市立保田中学校 井上 寿子

## 夏休み！命を守る① ～感染症対策～

夏休みが近づいてきました。7月21日～8月23日までの34日間です。この34日を「どのように過ごそうか。」を考えていますか？1・2年生の皆さんは新チームで始動する部活動を頑張ってもらいたいと思います。3年生の皆さんは、嫌と言うほど「勉強の夏！」と言われていることでしょう。夏休みには全員がタブレット端末を持ち帰ります。各学年で課題やホームルーム等が提示されるので活用してください。また、読書もしてほしいと思っています。**8月3日(火)9:00～12:00に図書室を開館**します。学校閉庁日前に活用してほしいと思います。

さて、本題です。夏休み中に普段できないことをたくさんしてほしいと思いますが、何よりも大切なことは「命を守る」行動です。命を守る行動にはいろいろあります。交通安全、自然災害から身を守る、感染症対策、少し大げさかもしれませんが規則正しい生活をする 것도命を守る行動です。

新型コロナウイルス感染症については、連日報道されているとおり、県内でも再び陽性者が増えつつあり、感染力が強いといわれるデルタ株も検出されています。ワクチン接種が徐々に進んできていますが、今までどおり三密を避け「手洗い・マスク・換気」等を心がけましょう。

右の枠内は、昨年、県から示された家庭内感染の予防についてまとめたものです。無理のない範囲で実行していただくと良いと思います。

また、裏面は、昨年度生徒の皆さんにお話しした内容の抜粋です。基本的な感染症対策は変わっていませんので、再度、ご家庭でも話し合う機会を持っていただけるとうれしいです。

### 《家庭内感染の予防について》

- 症状のある人は家の中でもマスクをする
- 症状のある人は別の部屋で過ごす
- 時々部屋の換気をする
- 症状のある人は家族とは別の場所や時間をずらして食事をする
  - 一人ずつ盛り付ける
  - コップやペットボトルの回し飲みをしない
- 症状のある人がお風呂に入る時は、最後に入る
- こまめに手洗いをする。特に食事前、トイレ後、外出から帰ったら、せっけん・流水でよく洗う
  - タオルを共用しない

## 新型コロナウイルス 《COVID-19》とは

- ・風邪やインフルエンザのウィルスもコロナウィルス的一种です。
- ・コロナウィルスは、自分自身で増えることはできません。
- ・粘膜などに付着して、細胞に入り込んで増えることができます。

### どのように感染しますか？

- ・感染経路は、飛沫感染と接触感染です
- ・健康な皮膚からは体内に入り込むことはありません。表面にくっつくだけです。
- ・手洗いは、たとえ流水だけでもウィルスを流すことができます
- ・石けんやアルコールはウィルスの膜を壊し感染力を失わせます。

### 《飛沫感染とソーシャルディスタンス》



### 《接触感染》



### コロナウィルス感染事例を考えよう！



(廣井先生がイラストを描いてくれました)

左の図で感染事例があるのは②③④です。

①はほとんどの人がマスクを着けている状態で、すれ違った程度では感染しないと言われていいます。厚生労働省のアプリでは15分以上接近した状態の人に通知が届きます。

②～④はマスクを着けていません。③は屋外ですが近距離でマスクなしの会話で飛沫感染が起っています。④の部屋は、換気を十分にしていないという想定です。3密の1つ、密閉の状況です。これらはあくまで事例です。必ずしも感染が起こる訳ではありませんが注意が必要です。

- ☆ だれでも感染する可能性があります。
- ☆ 感染した人への誹謗中傷などは、許されない行為です。
- ☆ できるだけ感染しないように、しっかり予防をしましょう。
- ☆ 「もしかしたら、知らない間に自分が感染しているかもしれない」という考え、行動しましょう。